

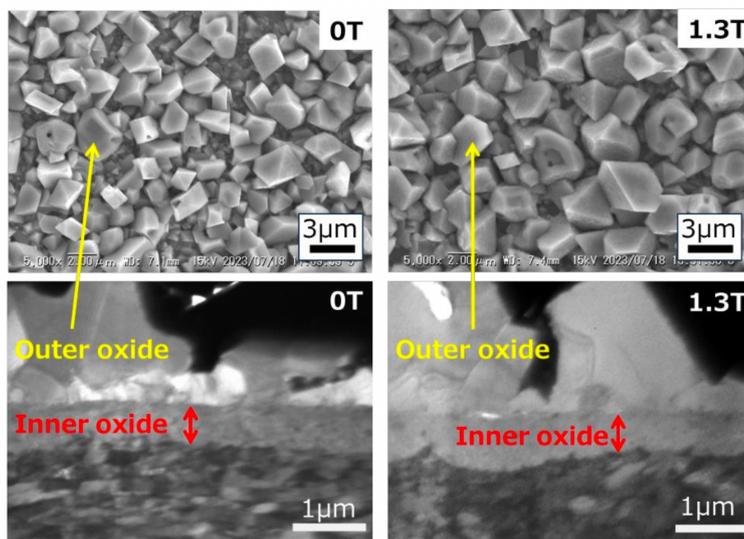
プラズマ・核融合学会誌

第100巻第3号

2024年3月

小 特 集	水中難分解性物質の低環境負荷処理に挑戦する放電プラズマ技術	
	1. はじめに	白藤 立 121
	2. 水中放電プラズマ生成技術の発展と難分解性有機物処理	竹内 希 123
	3. 多孔体を活用したプラズマ液界面プロセスの開発	白藤 立 128
	4. 気液界面プラズマの形成と高耐圧 SiC-MOSFET を用いた小型高電圧 パルスパワー電源の開発	高橋 克幸, 高木 浩一, 黒岩 丈晴, 坂本 邦博 135
	5. 放電プラズマとオゾンの相乗効果による水中有機物分解	大澤 直樹 142
	6. 産業廃水処理への適用を見据えたパルス放電プラズマ水処理技術	生沼 学, 内藤 皓貴, 神谷 佑, 稲永康隆 148
	7. おわりに	竹内 希 155
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト		157
インフォメーション		158
	ITER だより (104)	
	中国科学院・等離子体物理研究所の現状	
	【会議報告】 29th IAEA Fusion Energy Conference (FEC 2023)	
	第7回アジア太平洋プラズマ物理国際会議 (AAPPS-DPP2023)	
本 会 記 事		168
	令和6年度 第22回高校生シンポジウム実習受入研究室募集ご協力をお願い 【こちら編集委員会です】 3月号付録カレンダーについて 会員の声	

編 集 後 記



表紙の絵

低放射化鋼やその腐食生成物とともに強磁性体のため、磁場環境中では腐食特性が変化することが予想される。そこで低放射化鋼の高温高圧水中腐食特性を評価した。図は磁場を負荷していない環境と1.3テラの磁場環境下での酸化皮膜性状を比較したものである。表面の酸化粒子の成長速度は磁場環境下のほうが1.3倍程度大きくなり、低放射化鋼の腐食特性に磁場が影響することを明らかとした。(Motoki NAKAJIMA and Takashi NOZAWA, Plasma and Fusion Research, Vol. 19, 1205007 (2024) <http://www.jspf.or.jp/>)

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません(社外頒布用の複写については許諾が必要です)。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル 2F Tel:(03)3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。